

事業名	快適・安心住まいづくり支援事業	部局	建設部	課・室	建築住宅課
		実施期間	S25 ~	E-mail	kenchiku@pref.nagano.lg.jp

総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)

8つの重点目標		
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進	2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保
	3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造
	4-5 地球環境への貢献	5-1 多様性を尊重する共生社会づくり

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○少子高齢化と人口・世帯数減少の進展により、住宅ストックが量的に充足されている一方で、空き家の増加や住宅産業の後継者不足等の住宅施策上の諸問題が顕在化している。 ○既存住宅の有効活用、空き家の適正な維持管理による居住環境の悪化の防止、地域の住まいづくりを支える担い手確保に向けた取組等が求められている。	30年度 決算額	176,159 千円
		職員数	4.20 人

目指す姿	○省エネルギーへの配慮や豊富な森林資源を活用した住まいづくりの促進を図り、一人ひとりがすこやかに暮らせる快適で健康な住まい、長く活用される良質な住まいの普及を目指す。 ○人口・世帯数減少社会に対応するため、空き家の適正な維持管理、移住・二地域居住の促進にも資する既存住宅の有効活用、住まいづくりの担い手確保に向けた普及啓発や木造建築物の魅力の発信等に取り組み、多様な居住ニーズに応える魅力的な地域づくりを目指す。 (主な実施内容:省エネルギーに配慮した住宅の新築・リフォームへの支援、空き家対策の促進、木造建築物の普及促進など)
------	--

事業	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況										
					No	成果指標	29年度	30年度							
		目標値	成果	達成状況											
コスト	予算額	前年度繰越	0	0	0	①	新築住宅の県産木材使用量(助成対象分)	3,322m ³	3,330m ³	3,324m ³	未達成				
		当初予算	148,582	204,410	192,241			②	新築住宅省エネルギー基準適合率	95.7%	94.5%	91.80%	未達成		
		補正予算		-15,000	0					③	空家等対策計画を策定した市町村の割合	36.6%	42.8%	50.60%	達成
		合計(A)	148,582	189,410	192,241							④	新設住宅(持ち家)における木造在来工法の割合の維持	75.0%	75.0%
	Aの財源	一般財源	81,071	104,065	105,481	備考	成果指標 設定理由	①県産木材を利用した住宅への補助による利用促進の効果として、県産木材の使用量を成果指標に設定 ②建築物省エネ法及び長野県地球温暖化対策条例による建築物の省エネに対する取組成果として適合率を設定 ③県が技術的助言等の支援を行うことによる市町村の空き家対策の推進の成果として、計画を策定した市町村の割合を設定 ④木造在来工法の住宅への補助等による木造住宅振興の効果として、新設住宅における木造在来工法の割合を設定							
		県債	0	0	0										
		国庫支出金	66,366	84,242	85,639										
	その他	1,145	1,103	1,121											
	決算額(B)		139,300	176,159											
	概算人件費	職員数(人)	4.10	4.20	4.60										
概算人件費(C)		33,218	34,516	37,803											
概算事業費(B(A)+C)		172,518	210,675	230,044											

備考	
成果指標 設定理由	①県産木材を利用した住宅への補助による利用促進の効果として、県産木材の使用量を成果指標に設定 ②建築物省エネ法及び長野県地球温暖化対策条例による建築物の省エネに対する取組成果として適合率を設定 ③県が技術的助言等の支援を行うことによる市町村の空き家対策の推進の成果として、計画を策定した市町村の割合を設定 ④木造在来工法の住宅への補助等による木造住宅振興の効果として、新設住宅における木造在来工法の割合を設定

目標に対する成果の状況	①県産木材を利用した住宅への助成制度において、加算項目の活用実績が多く、1件当たりの助成単価を押し上げ、補助件数が予定を下回ったため、県産木材使用量は目標を下回った。 ②省エネ住宅の事例集の作成・配布による意識啓発を図ったものの、基準に適合しない別荘の増加などにより未達成となった。 ③空き家対策地域連絡会等を通じ、市町村間の情報共有やサポートを実施した結果、計画策定率は目標を上回った。 ④助成制度における木造住宅見学会の実施等、普及啓発を行った結果、木造在来工法の割合は目標を上回った。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	既存住宅の有効活用、空き家の適正な維持管理による居住環境の悪化の防止に向けた取組等が求められている中、助成制度等をより多くの県民に活用いただけるよう見直しを図っていく。	住宅見学会等による県産木材のPRを継続して実施するとともに、より多くの県民に助成金を活用いただけるよう、加算方法を見直し県産木材の活用を促進する。また、事例集の活用による普及啓発を実施し、省エネ住宅の普及を図ることにより、一人ひとりがすこやかに暮らせる快適で健康な住まい、長く活用される良質な住まいの普及を目指す。

3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1	住宅総務費		住宅施策に関する調査審議、建築基準法令等に規定される事項の調査、審議、同意又は議決等	0.50	1,485	902	1,520
2	環境配慮型住宅普及促進事業費		快適で環境に優しい環境配慮型住宅の新築及びリフォームへの助成を実施	1.90	188,760	163,443	173,460
3	住宅新築資金等貸付助成事業費		過去に市町村が実施した「住宅新築資金等貸付事業」貸付金の償還を推進するため、国庫補助と併せて市町村への助成を実施	0.10	5,077	4,162	4,165
4	空き家適正管理促進事業費		空き家の適正な管理・円滑な利活用の促進のため、市町村の空き家対策への支援や中古住宅流通促進のための助成を実施	0.90	2,867	2,833	2,995
5	信州木のある暮らし推進事業費		木造建築物の普及と担い手確保に向けた取組み、二地域居住者向けコンパクト住宅の普及に向けたPR等を実施	0.40	3,066	2,514	4,688
6	新たな住宅セーフティネット制度構築事業費		住宅確保要配慮者需要調査 民間賃貸住宅供給調査	0.20	1,921	1,895	146
7	信州の多様な住まい方検討事業費		-	-	-	-	1,067
8	古民家等あんしん活用推進事業費		-	-	-	-	3,000
9	分譲団地残地管理事業費		昭和56年まで旧土木部・企業局が分譲した団地に係る公衆用道路、水路及び法面等の県名義の残地について適正管理を実施	0.20	1,234	410	1,200
合計				4.20	204,410	176,159	192,241

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	快適・安心住まいづくり支援事業				部局	建設部	課・室	建築住宅課				
細事業No	細事業名	項目	実施方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施状況	29年度	30年度					
							当初（千円）	要求（千円）	当初（千円）	補正（千円）	決算（千円）		
11 09 01													
1	住宅総務費	長野県住宅審議会	直接	・賃貸住宅供給促進計画の検討（調査・審議）	賃貸住宅供給促進計画策定に向けての調査・審議のため、審議会を2回開催	計画通り ○	287	437	437			268	
1	住宅総務費	長野県建築審査会	直接	・建築基準法の規定に基づく同意、建築基準法第94条第1項の審査請求に対する裁決他	建築基準法の規定に基づく同意のため、審査会を4回開催	計画通り ○	880	805	805			508	
1	住宅総務費	長野県建築士審査会	直接	・二級・木造建築士試験に関する事務、二級・木造建築士に対する処分等の同意他	二級・木造建築士試験の合格者判定事務のため、審査会を2回開催	計画通り ○	243	243	243			126	
2	環境配慮型住宅普及促進事業費	新築タイプ助成	補助金	H28省エネ基準適合及び県産木材活用（基本額30万円）、その他自然エネルギー導入や子育て世帯等の加算要件を満たす住宅への助成 H30予定：50万円×100戸（H30募集分） 50万円×50戸（H29募集・旧信州健康エコ住宅助成金）	H30活用実績：138件 （H30募集分86件、H29募集分52件）	計画通り ○	77,500	85,700	75,000			73,100	
2	環境配慮型住宅普及促進事業費	リフォームタイプ助成	補助金	自然エネルギー導入検討を経た省エネ化その他のリフォーム工事費の一部（20%、上限50万円）を助成 H30予定：50万円×270件（H30募集分） 36万円×15件（H29募集・旧信州型住宅リフォーム助成金）	H30活用実績：254件 （H30募集分240件、H29募集分14件）	計画未達 △	46,500	105,100	113,400	-15,000		90,232	
2	環境配慮型住宅普及促進事業費	周知等経費	直接	事業周知用チラシ作成経費	事業周知のためのチラシを作成した。（10,000部×2） 現地機関、市町村、関係団体等へ配布、各種イベント等において配布した結果、昨年以上の実績戸数となった。	計画通り ○	180	360	360			111	
	信州型住宅リフォーム促進事業費	省エネ先導モデル型リフォーム助成金		—	—		2,000	0	0			0	
3	住宅新築資金等貸付助成事業費	償還推進助成事業	補助金	・当該年度の計画的な償還金の回収費用への補助 ・前年度までの滞納に係る償還金の回収費用への補助	市町に滞納整理費用（督促及び法的措置の申し立て等にかかる費用）の一部を助成することで、計画的な償還の推進と未償還額の回収に寄与した。H30：13市町村	計画通り ○	4,366	5,077	5,077			4,162	
	エネルギー配慮型住宅・建築物促進事業費	エネルギー配慮住宅・建築物促進事業費		—	—		614	264	0			0	
4	空き家適正管理促進事業費	市町村空き家対策サポート事業	直接	・市町村職員を対象とした研修会を開催 ・市町村が実施する空き家相談や空き家の立入調査等へ建築・不動産・法律等の専門家を派遣	市町村職員を対象とした研修会を開催（参加者160名）及び市町村が実施する空き家相談会や空き家の立入調査等への建築、法律等の専門家を派遣（延べ29名）	計画通り ○	367	378	367			371	
4	空き家適正管理促進事業費	あんしん空き家流通促進事業	補助	消費者が安心して空き家を購入できる市場環境を整備するため、既存住宅現況検査費用及び既存住宅売買瑕疵保険料の一部を補助	既存住宅現況検査費：49件（1,772千円） 既存住宅売買瑕疵保険料：20件（690千円）	計画通り ○	2,500	2,500	2,500			2,462	
4	空き家適正管理促進事業費	空き家の活用・放置防止の啓発事業		—	—		0	3,917	0			0	
4	空き家適正管理促進事業費	安心・安全DIYモデル普及事業		—	—		0	1,283	0			0	
5	信州木のある暮らし推進事業費	”信州の木”建築賞	直接	県内の木を活かした優良な建築物（多数の県民が利用する施設等）を表彰	中大規模（500㎡未満）の住宅以外の木造建築物・木質化建築物2作品を表彰	計画通り ○	742	748	748			717	
5	信州木のある暮らし推進事業費	担い手育成に向けた啓発事業	直接	中学生の技術科授業への大工技能者の派遣による実演・指導により、木造建築物の担い手確保に向けた啓発を実施	9校21クラス（生徒数642名）の技術家庭科授業に大工技能者を派遣	計画通り ○	384	1,880	1,880			1,322	

事業番号	事業名	快適・安心住まいづくり支援事業				部局	建設部	課・室	建築住宅課			
11 09 01												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度	30年度				
							当初 （千円）	要求 （千円）	当初 （千円）	補正 （千円）	決算 （千円）	
5	信州木のある暮らし推進事業費	二地域居住者向けコンパクト住宅 整備事業補助金	—	—	—		10,000	0	0	0		
5	信州木のある暮らし推進事業費	“二地域居住者向けコンパクト住宅” 普及促進事業	直接	モデルプラン提案プレゼンテーションの開催	銀座NAGANO(9/17)、名古屋(11/17)、大阪(1/19)において、 プレゼンテーションを実施	計画通り ○	236	3,100	438	475		
	古民家を活用した観光・交流拠点 整備事業費	古民家を活用した観光・交流拠点 整備事業補助金	—	—	—		0	10,000	0	0		
	古民家を活用した観光・交流拠点 整備事業費	古民家を活用した観光・交流拠点 整備事業補助金	—	—	—		0	5,000	0	0		
	古民家を活用した観光・交流拠点 整備事業費	現場研修会経費	—	—	—		0	400	0	0		
	古民家を活用した観光・交流拠点 整備事業費	古民家DBの整備	—	—	—		0	10,000	0	0		
6	新たな住宅セーフティネット制度 構築事業費	需要調査委託	委託	・住宅確保要配慮者需要調査 ・民間賃貸住宅供給調査	・住宅確保要配慮者需要調査（委託先：公益社団法人全国 賃貸住宅経営者協会連合会長長野県支部） ・民間賃貸住宅供給調査（委託先：社会福祉法人長野県 社会福祉協議会）	計画通り ○	0	1,921	1,921	1,895		
7	信州の多様な住まい方検討事業費	ワークショップの開催	直接	—	—		0	0	0	0		
7	信州の多様な住まい方検討事業費	アンケート調査	直接	—	—		0	0	0	0		
7	信州の多様な住まい方検討事業費	専門部会の開催	直接	—	—		0	0	0	0		
8	古民家等あんしん活用推進事業費	古民家等活用マニュアル作成	委託	—	—		0	0	0	0		
9	分譲団地残地管理事業費	分譲団地路面補修 分譲団地支障木伐採	委託	・路面補修 1団地 善光寺下C団地（長野市） ・支障木伐採 1団地 小泉団地（茅野市）	・支障木伐採 1団地（茅野市 小泉団地県有地） 委託先：(株)今井緑化総業	計画未済 △	1,783	1,634	1,234	410		
合 計								148,582	240,747	204,410	-15,000	176,159